



三菱電機パッケージエアコン別売部品 左右ルーバーユニット PLP-U160ELR 据付工事説明書

(室内ユニット本体、化粧パネル、併用する別売部品の据付工事説明書を併せてお読みください)

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方などを説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

改造は、絶対にしない。

- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取り付ける。

- 端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災などの原因になります。

別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。

- 取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けをする前に(環境)

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- 保存物の品質低下などの原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ・機械油を使用するところ
- ・車両・船舶など移動するものへの設置
- ・高周波を発生する機械を使用するところ
- ・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・海浜地区など塩分の多いところ
- ・積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。



注意

濡れて困るものの上にユニットを据え付けない。

- 湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。
また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットの集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

据付(移設)工事をする前に



注意

製品の運搬は、十分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをすることがありますので保護具をご使用ください。

ユニットは必ず左右水平に据え付けること。

- 据付けに不備があると露たれ・騒音の原因になります。

エアコンを水洗いをしない。

- 感電・発火の原因になります。

梱包材の処理は、確実に行う。

- 梱包材には「クギ」などの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをすることがあります。

電気工事をする前に



注意

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災の原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

試運転をする前に



注意

パネルやガードをはずした状態で運転をしない。

- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

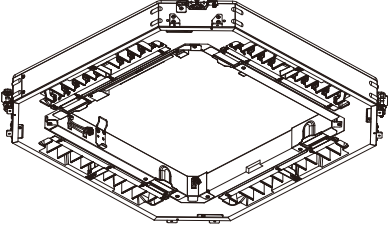




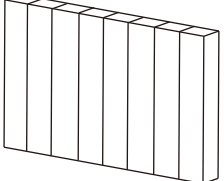
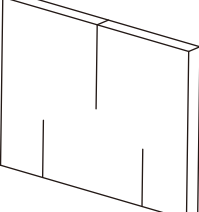
濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています)

品名	① 左右ルーバーユニット	② ネジ	③ 化粧パネル固定金具
個数	1	8 M5×12	4
形状			
	④ 整流ピース	⑤ ネジ	⑥ コーナーパネル用断熱材
	1	1 ST4×10	1
			
			⑦ 加湿器接続用断熱材
			2
			
			※ 1つのシートに断熱材が8枚付いています
			※ 直付加湿器との併用時のみ使用

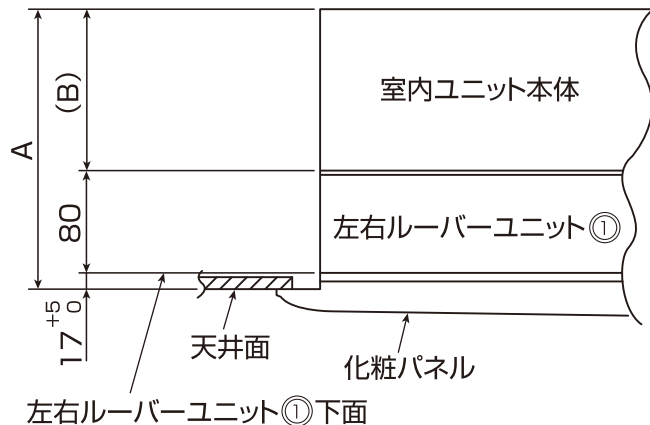
2. 室内ユニット本体の据付け

左右ルーバーユニットを据え付ける前に室内ユニット本体の現地配線(電源・内外接続線・リモコン線など)を施工してください。左右ルーバーユニットを据え付けた後では作業ができません。

● 室内ユニット本体の据付工事説明書を参照し、据え付けてください。

据付けに際し、以下の点にご注意ください。

- 天井開口穴が860×860～910×910の範囲内か確認します。
- 据付けには下図のような寸法が必要です。



お願い

配管接続部には点検口を設置する。

- 天井内及び埋設配管の接続部には、点検が可能なように点検口などを設けてください。

室内ユニット	A	(B)
小形機種	338	241
大形機種	378	281

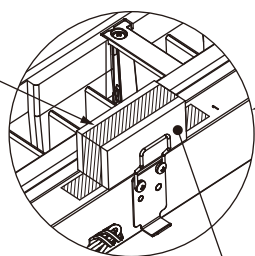
※ ただし、室内ユニット天面と天井スラブなどの間は、7mm以上開けてください。

3. 左右ルーバーユニット及び化粧パネル取付前の準備

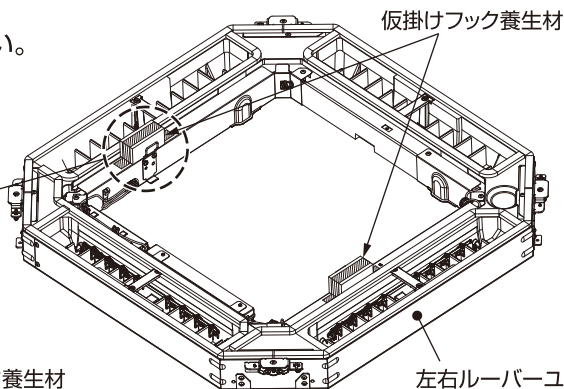
(1) 左右ルーバーユニット

仮掛けフック養生材は、テープを剥がしてとりはずしてください。(とりはずした養生材は使用しません)

テープを剥がしてください。



仮掛けフック養生材



左右ルーバーユニット①

(2) 化粧パネル

吸込グリル/コーナーパネルのとりはずし

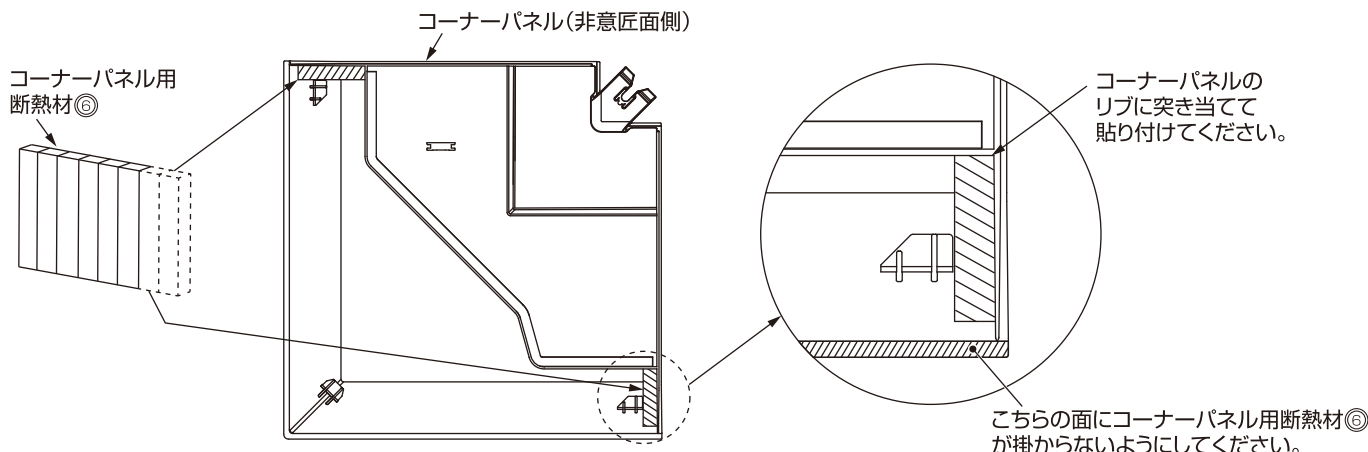
化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。

コーナーパネル用断熱材貼付け

下図に従って化粧パネルのコーナーパネル(4ヶ所)にコーナーパネル用断熱材◎を貼り付けてください。

- コーナーパネル1ヶ所につき、コーナーパネル用断熱材◎を2枚貼り付けてください。
- ワイヤレス受光部コーナーパネルとムーブアイセンサーコーナーパネルも同様に貼り付けてください。

※ ただし、既にコーナーパネル用断熱材◎が貼り付けてある場合は、本作業は不要です。



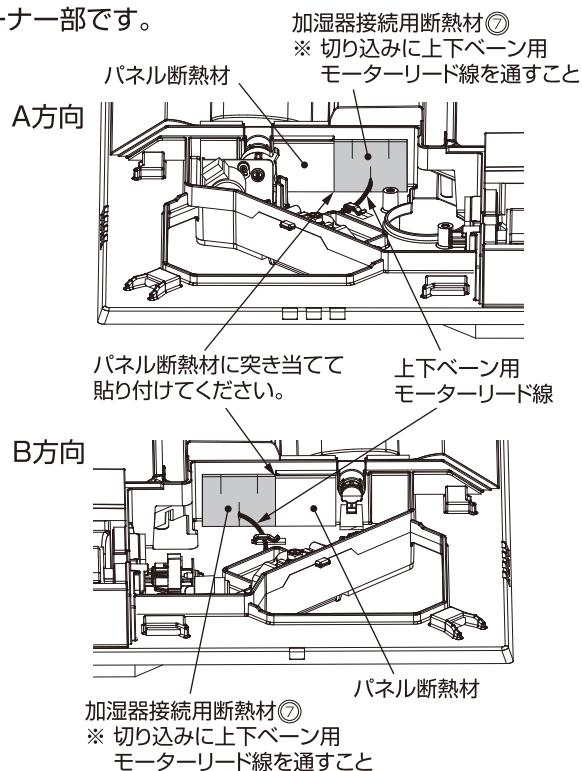
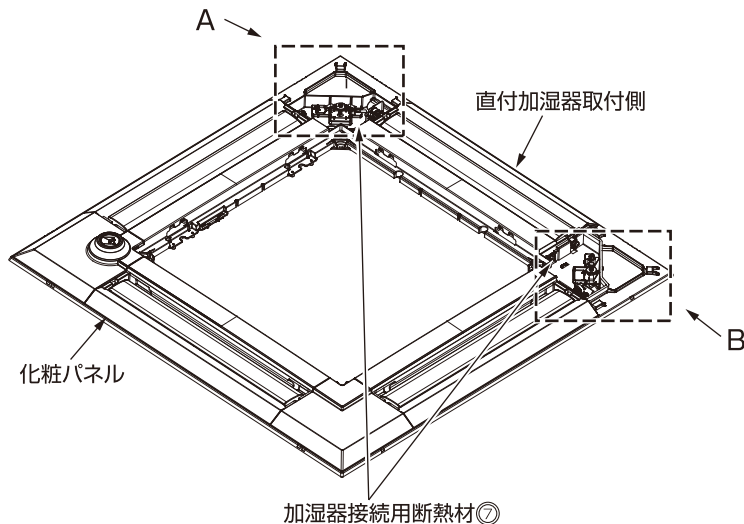
3. 左右ルーバーユニット及び化粧パネル取付前の準備（つづき）

加湿器接続用断熱材貼付け（直付加湿器との併用時のみ）

直付加湿器と併用する場合は、化粧パネルに加湿器接続用断熱材⑦を貼り付けます。

- 貼り付けする位置は、直付加湿器を取り付ける辺の化粧パネルコーナー部です。詳細は下図を参照してください。
- パネル断熱材に突き当てて、貼り付けてください。
- ※ 直付加湿器と左右ルーバーユニット①を併用する場合は、別途リモコンから機能選択をする必要があります。

8.確認 の項目を参照してください。



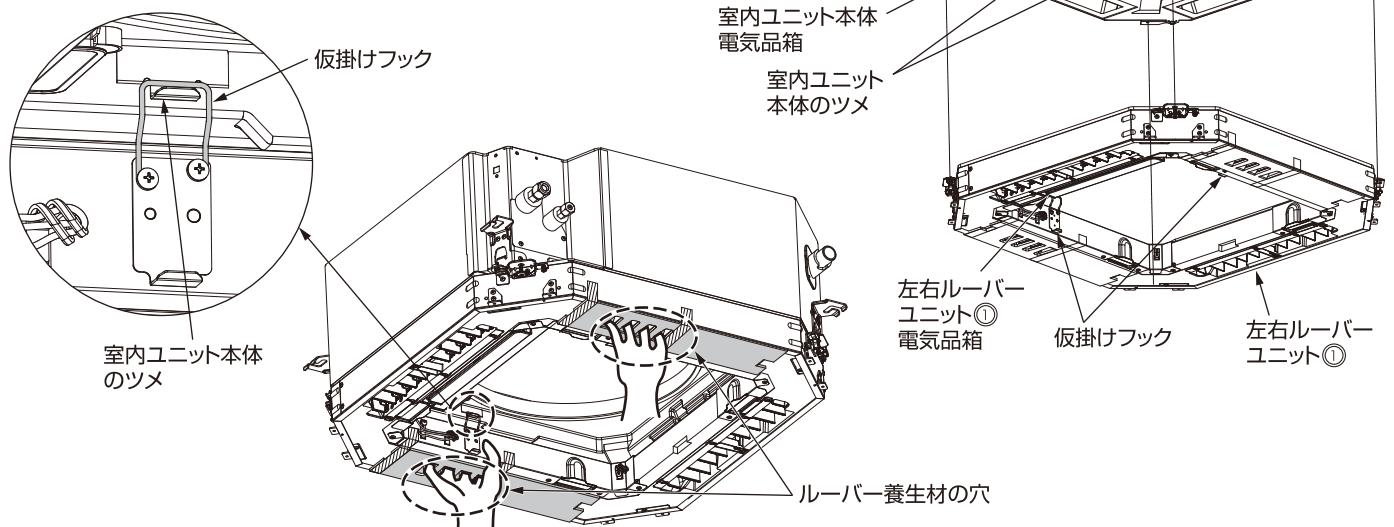
4. 左右ルーバーユニットの取付け

(1) 左右ルーバーユニットの仮掛け

室内ユニット本体電気品箱と、左右ルーバーユニット①電気品箱の位置を合わせ、左右ルーバーユニット①の仮掛けフックを室内ユニット本体のツメに引っ掛け、仮掛けします。

- 左右ルーバーユニット①のルーバー養生材の穴に指を入れ、持ち上げます。この時、内部のルーバーに力を加えないでください。破損の原因になります。
- 左右ルーバーユニット①のリード線を室内ユニット本体と左右ルーバーユニット①の間にはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、左右ルーバーユニット①に無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

〈左右ルーバーユニット①仮掛け状態〉



4. 左右ルーバーユニットの取付け (つづき)

(2) 左右ルーバーユニットの固定

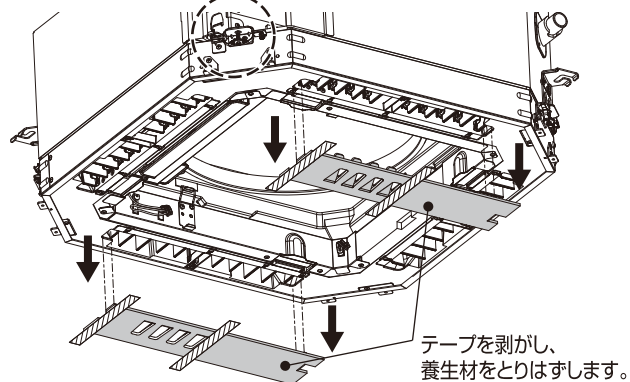
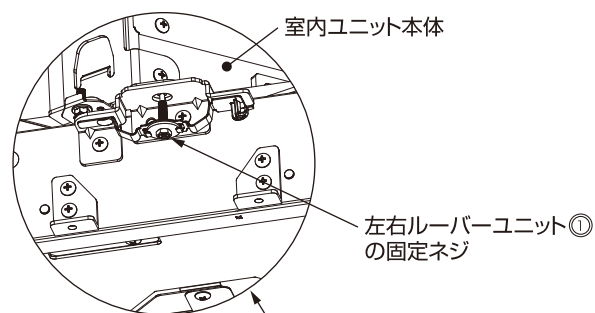
左右ルーバーユニット①の各コーナー部に組み込みのネジを室内ユニット本体に締め付けて、左右ルーバーユニット①を固定します。

左右ルーバーユニット①を固定後、左右ルーバーユニット①のルーバー養生材(2枚)をとりはずしてください。(とりはずした養生材は使用しません)

お願い

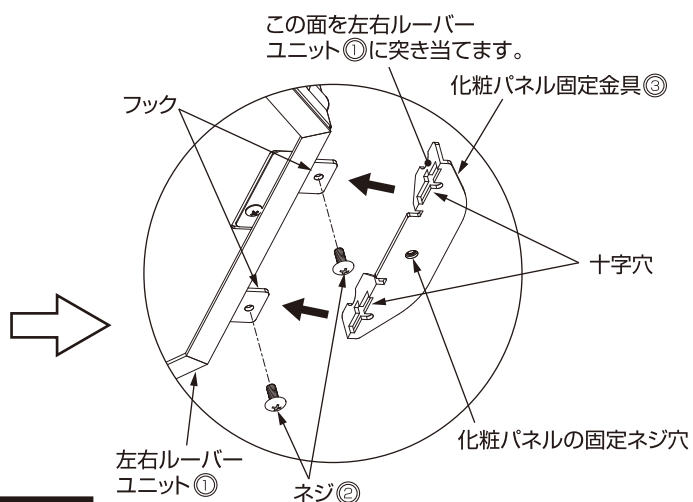
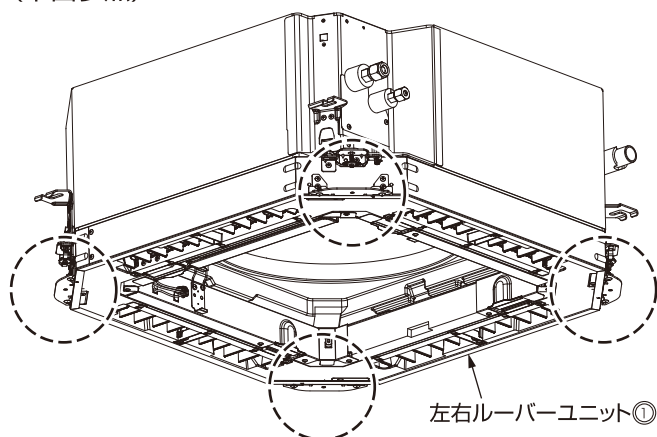
ネジを締め付ける際にはトルク2.8~3.6N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

●部品が破損する原因になります。



(3) 化粧パネル固定金具の取付け

左右ルーバーユニット①の各コーナー部のフックに、化粧パネル固定金具③(4ヶ)の十字穴を挿入し、ネジ②(8本)にて固定します。(下図参照)



お願い

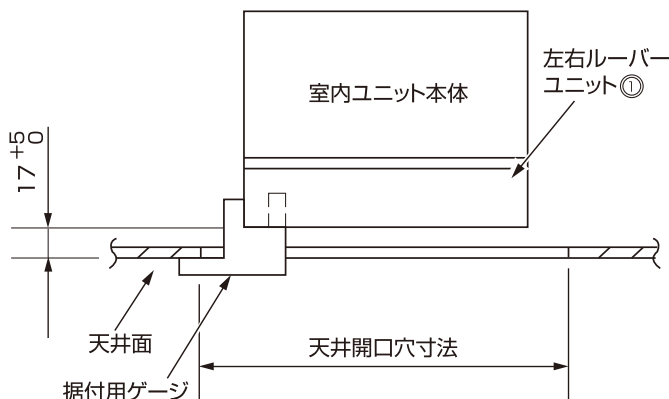
ネジを締め付ける際にはトルク1.2~1.8N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

●部品が破損する原因になります。

(4) 据付高さの調整

下図のように化粧パネル付属の据付用ゲージを使用して、天井面と左右ルーバーユニット①の高さ位置を室内ユニット本体にて再調整します。

必ず17~22の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、
故障などの原因になります。

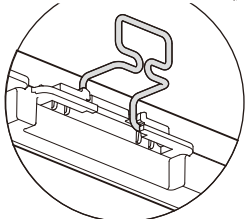


5. 化粧パネルの取付け

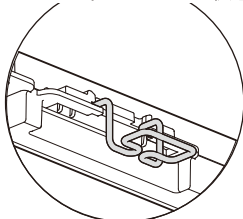
(1) 化粧パネル仮掛けの準備

化粧パネルの仮掛けフック(2ヶ所)が立ち上がっていることを確認します。

<フックが立ち上がっている状態>



<フックが下がっている状態>



(2) 化粧パネルの仮掛け

室内ユニット本体のドレン配管コーナー部と化粧パネルの丸穴があるコーナーの位置をあわせ、化粧パネルの仮掛けフックを左右ルーバーユニット①のツメに引っ掛け、仮掛けします。

- 化粧パネルと左右ルーバーユニット①のリード線を左右ルーバーユニット①と化粧パネルの間にはさまないようにしてください。
- 仮掛け時には、化粧パネルに無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

(3) 化粧パネルの固定

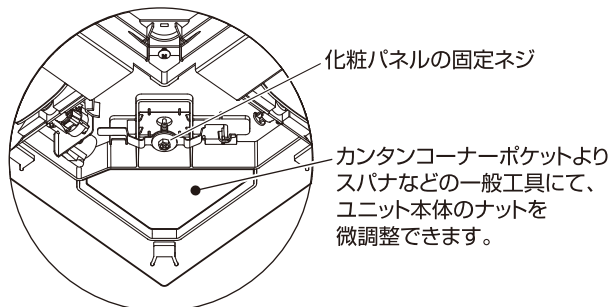
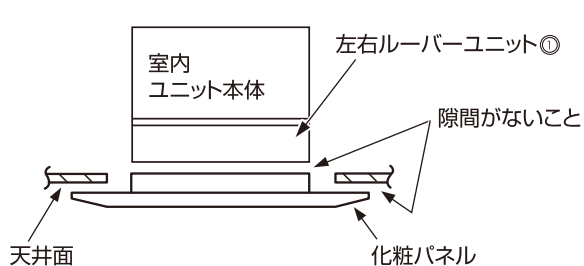
化粧パネルの各コーナー部に組込みのネジを左右ルーバーユニット①に締め付けて、左右ルーバーユニット①に化粧パネルを固定します。

- 左右ルーバーユニット①と化粧パネルの間及び化粧パネルと天井面の間に隙間がないようにしてください。

お願い

ネジを締め付ける際にはトルク2.8~3.6N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

- 部品が破損する原因になります。

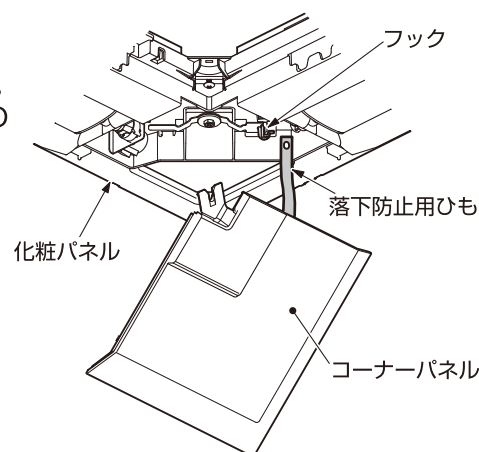


- 天井との隙間が生じた場合
化粧パネルを取り付けたまま、室内ユニット本体の据付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。

(4) コーナーパネルの固定

コーナーパネルの取付けは化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。落下防止用のひもが付いているコーナーパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。

- 確実に引っ掛けていないと、コーナーパネルが運転中に落下するおそれがあります。



6. 配線接続

(1) 室内ユニット本体の電気品カバーとりはずし

- 1) 室内ユニット本体電気品箱の電気品カバーを固定しているネジ(2本)を緩め、電気品カバーを長手方向にスライドさせて開きます。

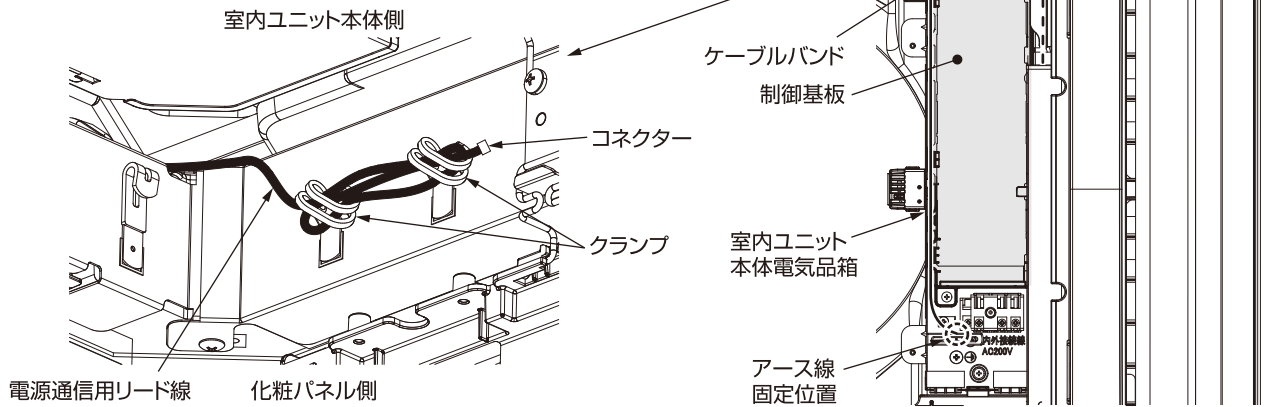
(2) 左右ルーバーユニット①の電源通信用リード線接続

- 1) 左右ルーバーユニット①の電源通信用リード線をクランプからとりはずし、室内ユニット本体制御基板のCN4G(青色4極)に確実に接続します。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押付けてください。クランプが飛び出していると本体電気品カバーの開閉が難作業になります。
- 2) 左右ルーバーユニット①用アース線を室内ユニット本体電気品箱内に付属のネジにてトルクは $1.6 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ で締付け、固定します。

注意 アース工事を行う。

- アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- 3) 左右ルーバーユニット①の電源通信用リード線は室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。



お知らせ

制御基板のコネクター位置については、室内ユニットの電気配線図をご参照ください。

(3) 化粧パネルベーンモータのリード線接続

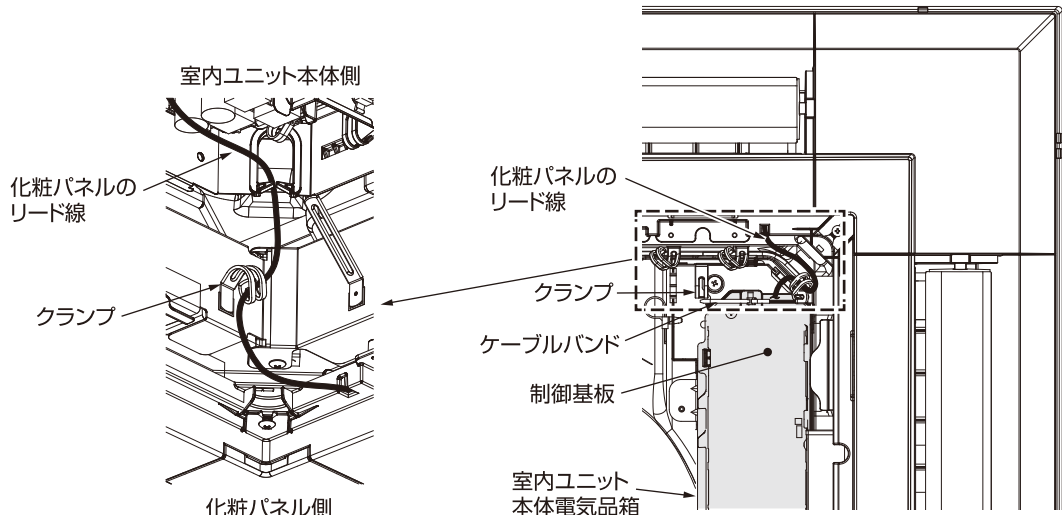
- 1) 化粧パネルのベーンモータのリード線を室内ユニット本体制御基板のCNVコネクター(白色20極)に確実に接続します。

お願い

制御基板のコネクターに対し垂直に接続してください。また、リード線を引っ張らないでください。

- 動作不良や破損の原因になります。

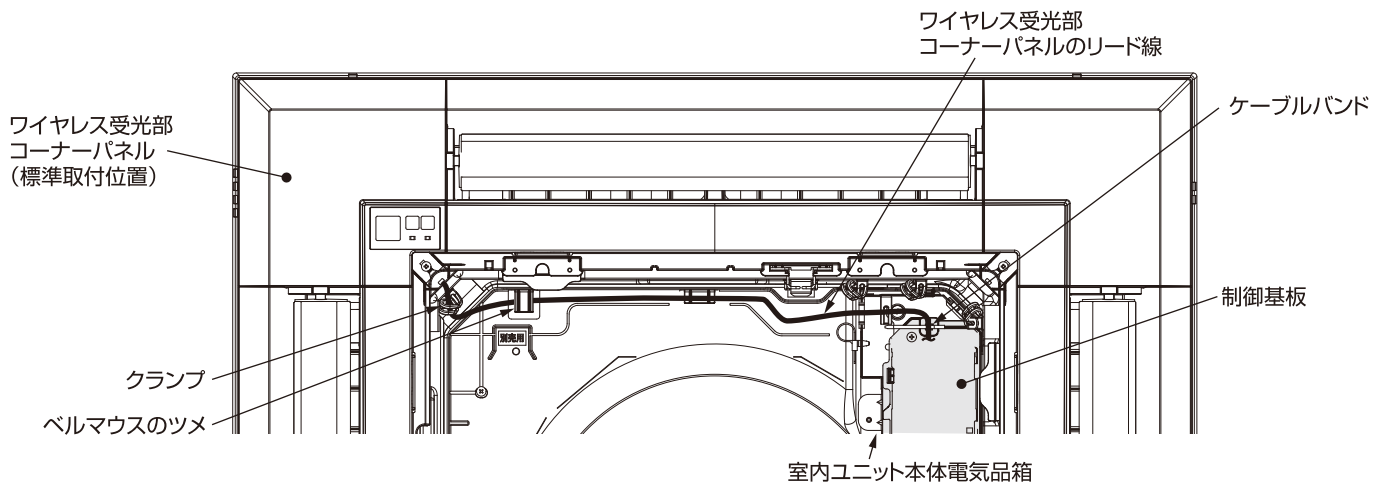
- 2) 化粧パネルのベーンモータのリード線は左右ルーバーユニット①のクランプ及び室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンド及びクランプに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押し付けてください。クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。



6. 配線接続 (つづき)

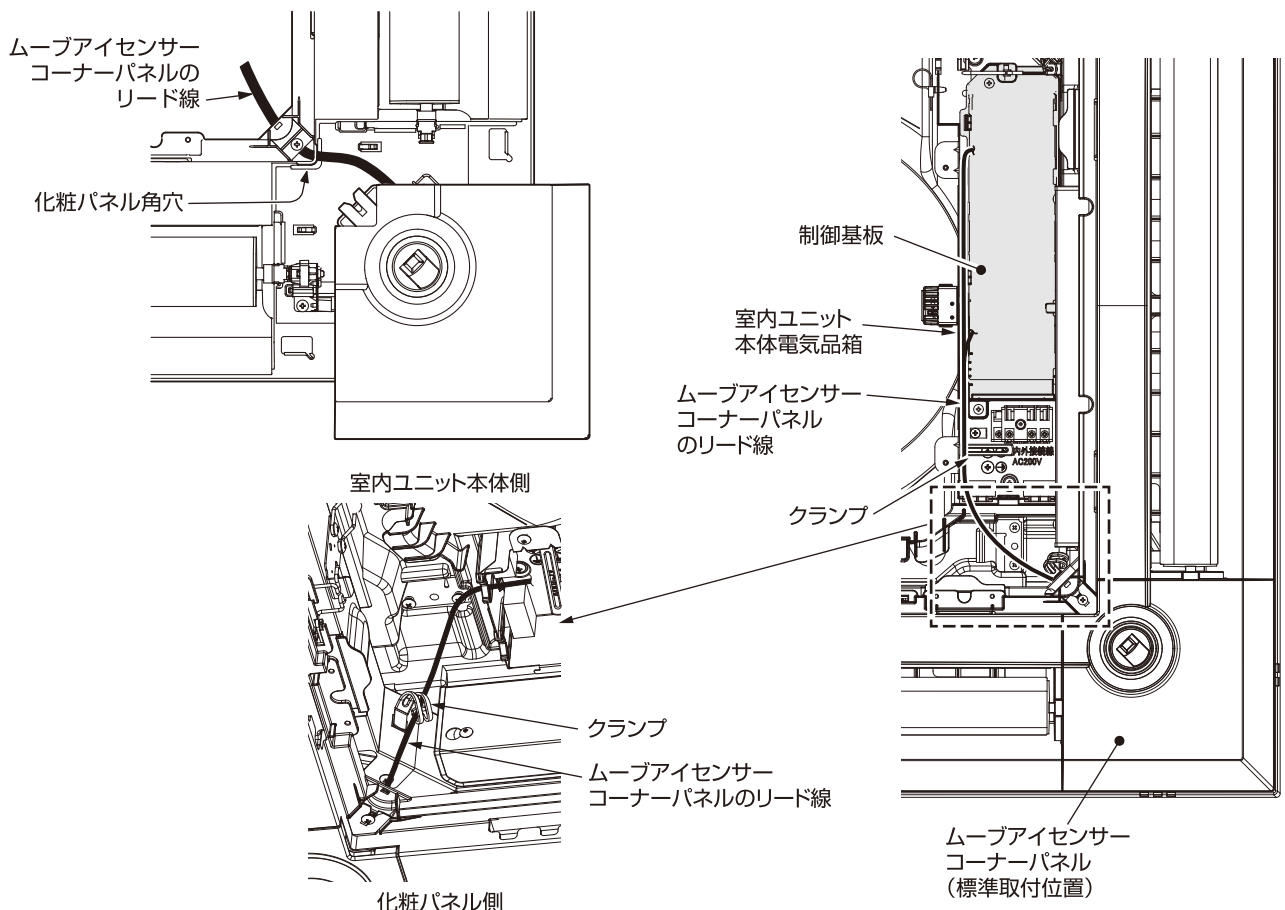
(4) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線接続 (ワイヤレス受光部付き化粧パネルにて標準取付位置の場合)

- 1) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN90コネクタ(白色9極)に確実に接続します。
- 2) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線は、左右ルーバーユニット①のクランプに固定後、ベルマウスのツメ及び室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。



(5) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線接続 (ムーブアイ付き化粧パネルにて標準取付位置の場合)

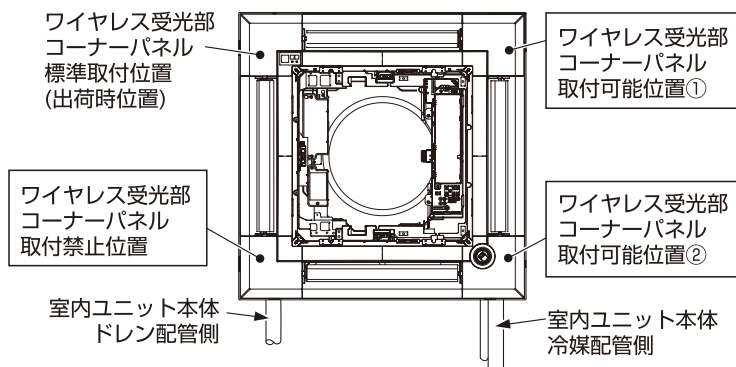
- 1) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、化粧パネルの角穴に通します。
- 2) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクタ(白色4極)、CN5Yコネクタ(白色5極)に確実に接続します。
- 3) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線は左右ルーバーユニット①のクランプ及び室内ユニット本体電気品箱内のクランプに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押し付けてください。クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。
- 4) ムーブアイセンサーコーナーパネルはムーブアイセンサーコーナーパネル付属のネジで化粧パネルに固定します。



6. 配線接続 (つづき)

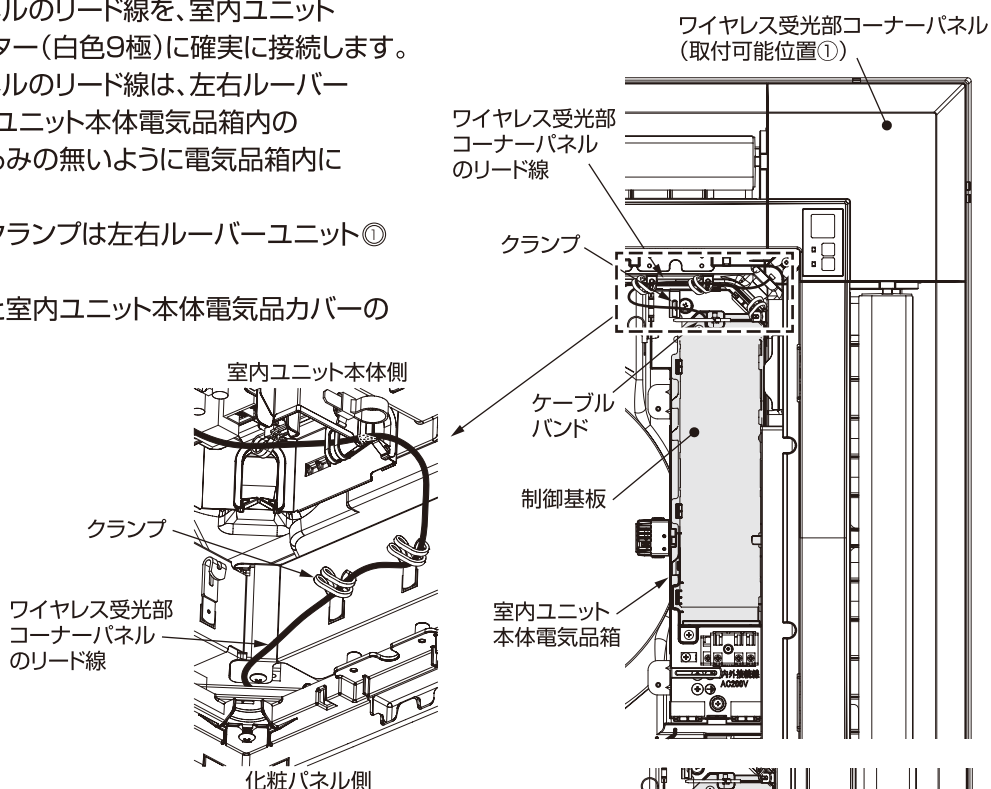
(6) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線接続 (ワイヤレス受光部付き化粧パネルにて標準取付位置以外の場合)

ワイヤレス受光部コーナーパネルは標準取付位置以外の下記2ヶ所にも取付可能です。



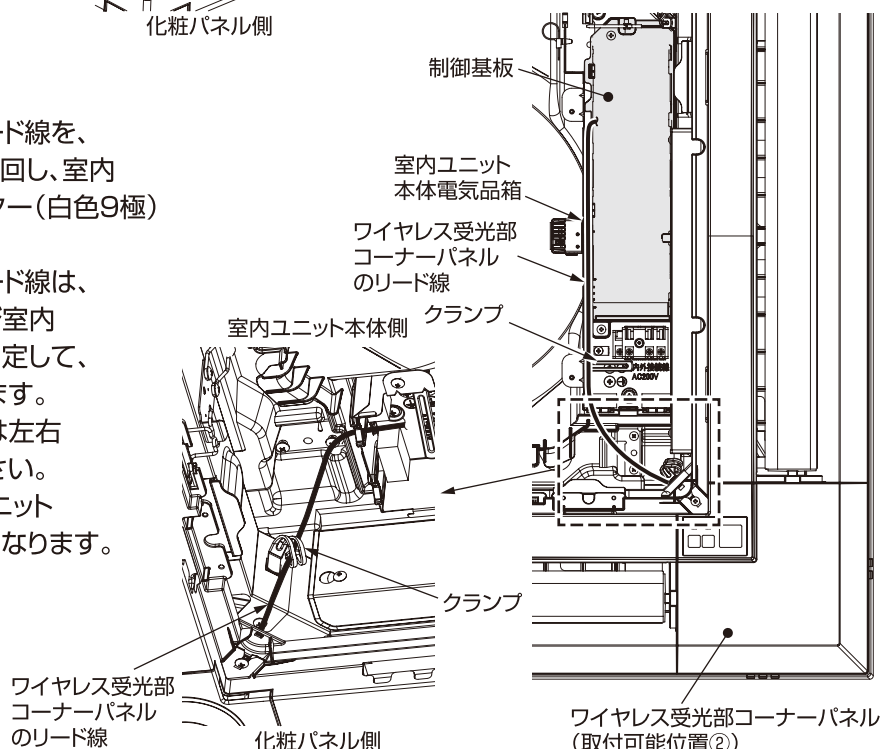
取付可能位置①への取付けの場合

- 1) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN90コネクタ(白色9極)に確実に接続します。
- 2) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線は、左右ルーバーユニット①のクランプ及び室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押付けてください。クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。



取付可能位置②への取付けの場合

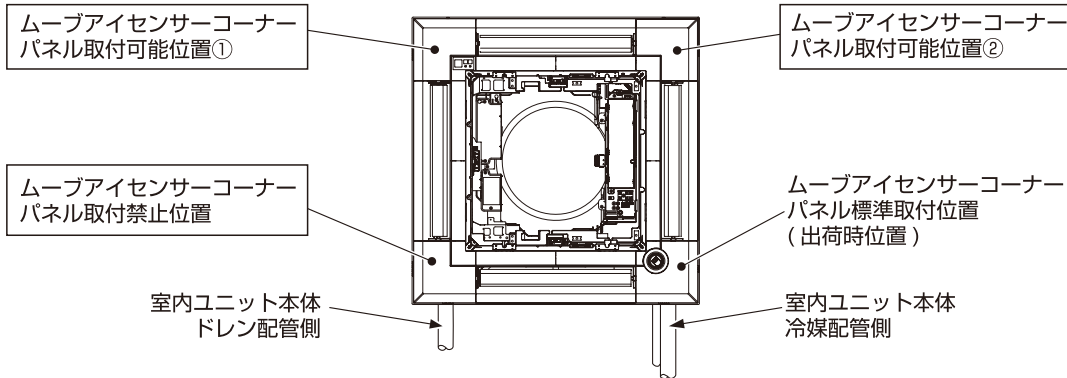
- 1) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体電気品箱側面より取り回し、室内ユニット本体制御基板のCN90コネクタ(白色9極)に確実に接続します。
- 2) ワイヤレス受光部コーナーパネルのリード線は、左右ルーバーユニット①のクランプ及び室内ユニット本体電気品箱内のクランプに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押付けてください。クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。



6. 配線接続 (つづき)

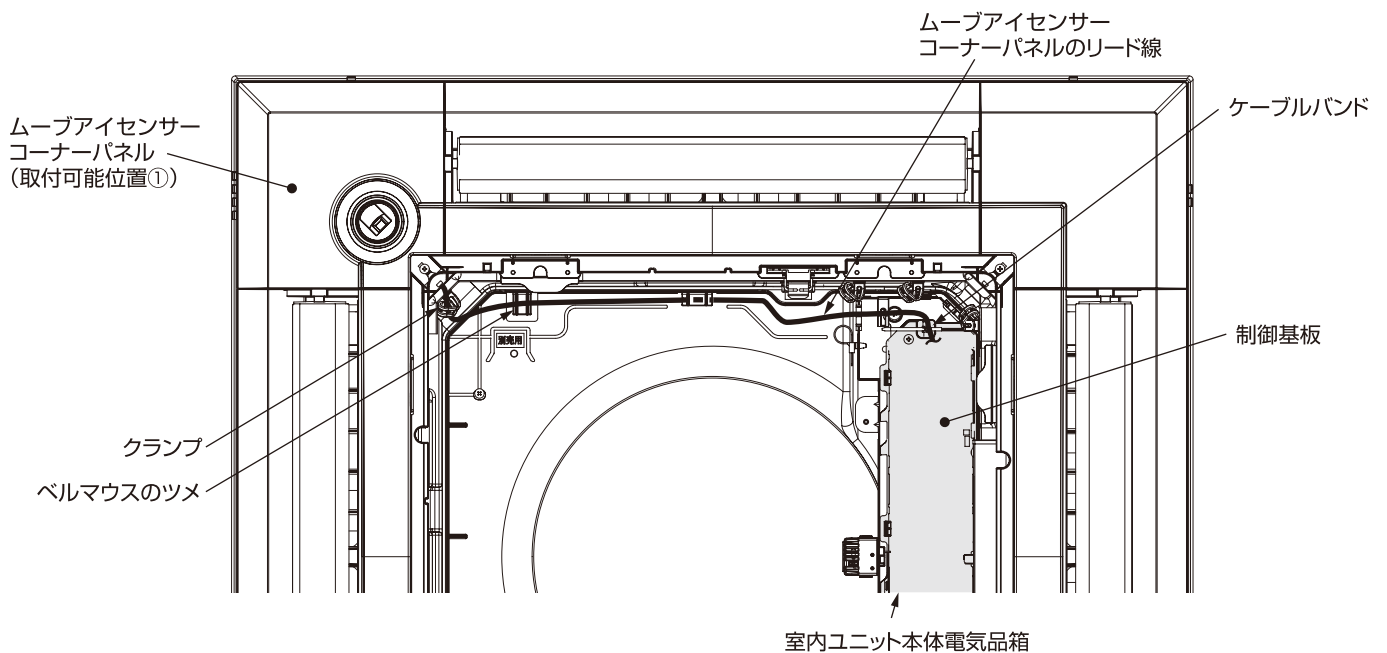
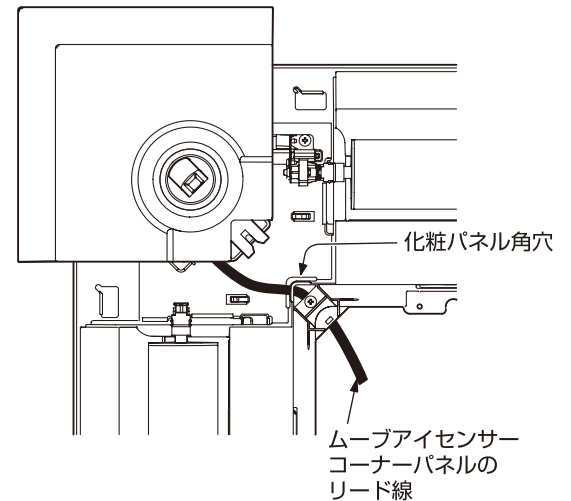
(7) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線接続 (ムーブアイ付き化粧パネルにて標準取付位置以外の場合)

ムーブアイセンサーコーナーパネルは標準取付位置以外の下記2ヶ所にも取付可能です。



取付可能位置①への取付けの場合

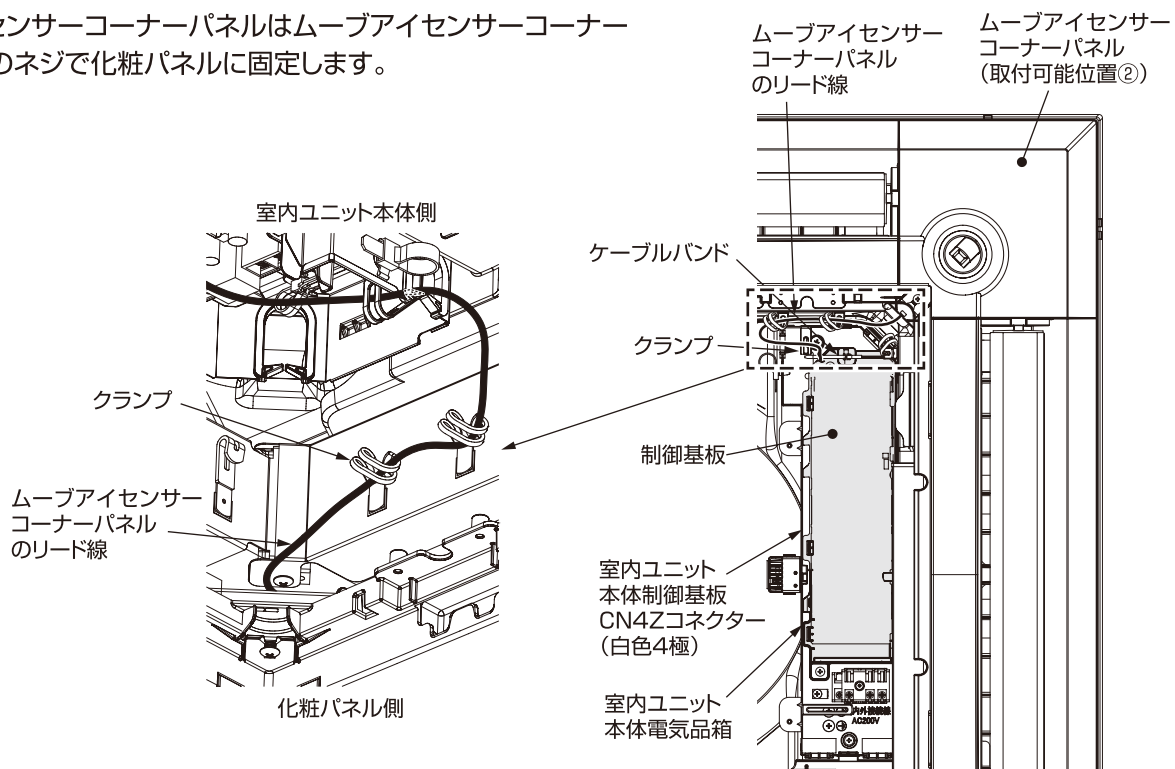
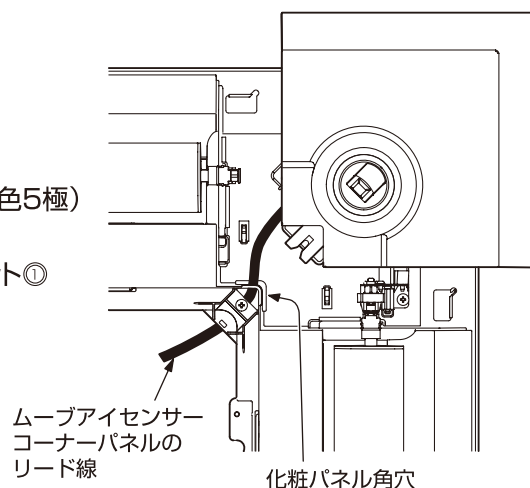
- 1) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、化粧パネルの角穴に通します。
- 2) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクター(白色4極)、CN5Yコネクター(白色5極)に確実に接続します。
- 3) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線は、左右ルーバーユニット①のクランプに固定後、ベルマウスのツメ及び室内ユニット本体電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
- 4) ムーブアイセンサーコーナーパネルは、ムーブアイセンサーコーナーパネル付属のネジで化粧パネルに固定します。



6. 配線接続 (つづき)

取付可能位置②への取付けの場合

- 1) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、化粧パネルの角穴に通します。
- 2) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線を、室内ユニット本体制御基板のCN4Zコネクタ(白色4極)、CN5Yコネクタ(白色5極)に確実に接続します。
- 3) ムーブアイセンサーコーナーパネルのリード線は左右ルーバーユニット①のクランプ及び室内ユニット本体電気品箱内のクランプに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。
 - 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押付けてください。
クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。
- 4) ムーブアイセンサーコーナーパネルはムーブアイセンサーコーナーパネル付属のネジで化粧パネルに固定します。

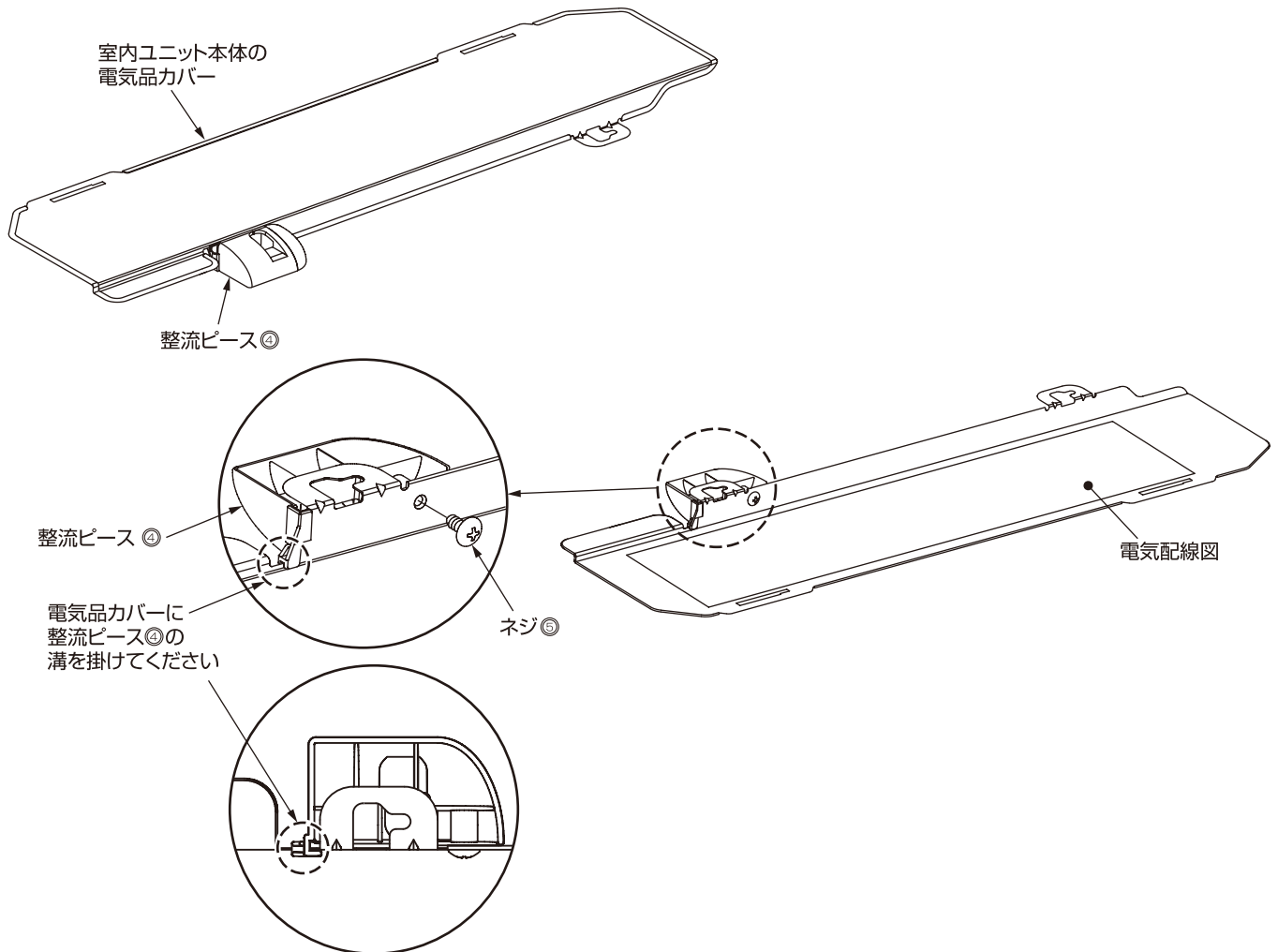


- ムーブアイセンサーコーナーパネル位置を標準取付位置以外へ変更した場合
設定の変更が必要なため、ムーブアイセンサーパネルの据付工事説明書を確認してください。

6. 配線接続 (つづき)

(8) 室内ユニット本体の電気品カバー取付け

- 1) 室内ユニット本体の電気品カバーを再取付けする前に、整流ピース④をネジ⑤にて取り付けます。
- 2) 電気品カバーを **6.配線接続 (1)室内ユニット本体の電気品カバーとりはずし** の逆手順で再取付けします。



お願い

ネジを締め付ける際にはトルク0.8~1.1N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバーは絶対に使用しないでください。

- 部品が破損する原因になります。

お願い

整流ピース④は確実に取り付けてください。

- 整流ピースが正しく取り付けられていないと運転音が大きくなる場合があります。

6. 配線接続 (つづき)

(9) 昇降キット用リード線接続 (カンタン自動パネルと併用時のみ)

カンタン自動パネルと併用する場合は、リード線が昇降モーターボックスのワイヤーに接触しないように配線してください。

また、電気品カバーに昇降モーターボックスのワイヤーをはさまないようにしてください。はさむとワイヤーが切れるおそれがあります。

- 1) 左右ルーバーユニット①電気品箱の電気品カバーを固定しているネジ(2本)を緩め、電気品カバーをスライドさせて開きます。
- 2) 昇降キット用リード線を左右ルーバーユニット①制御基板のCN4Gコネクタ(青色4極)に確実に接続します。
- 3) 昇降キット用アース線を左右ルーバーユニット①電気品箱内に付属のネジにて固定します。締付けトルクは $1.6 \pm 0.1 \text{ N}\cdot\text{m}$ で締付け、固定します。



注意

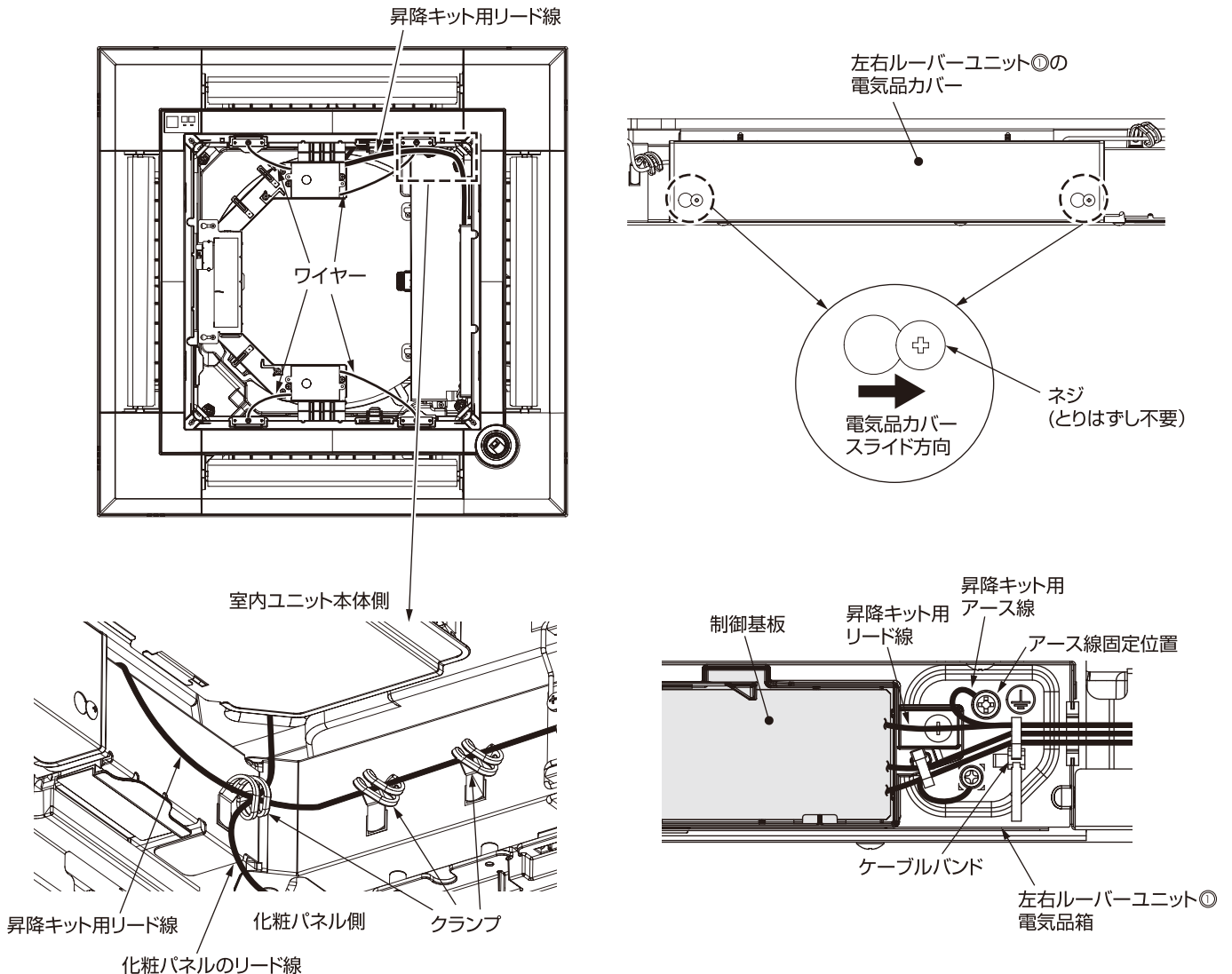
アース工事を行う。

- アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- 4) 昇降キット用アース線を左右ルーバーユニット①のクランプ及び電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めます。

- 左右ルーバーユニット①のクランプは左右ルーバーユニット①に押付けてください。クランプが飛び出していると室内ユニット本体電気品カバーの開閉が難作業になります。

- 5) 左右ルーバーユニット①の電気品カバーをとりはずしたときの逆手順で取り付けます。



7. 吸込グリルの取付け

化粧パネルの据付工事説明書を参照してください。

8. 確認

共通事項

ユニット本体と左右ルーバーユニット◎と化粧パネル、化粧パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。

- 隙間があると露たれや露付の原因になります。

配線接続が確実にされていることを確認します。

- 接続されていないと上下風向ベーンや左右ルーバーが動かない、露たれや露付、昇降グリルが昇降しない原因になります。

すべてのコーナーパネルにコーナーパネル用断熱材◎が貼り付けてあることを確認します。

- 貼り付けられていないと露たれや露付の原因になります。

ムーブアイセンサーコーナーパネルと併用の場合

ムーブアイセンサーパネルの場合、ムーブアイの回転動作を確認してください。

- ムーブアイが回転しない場合は、**6.接続配線**の作業を再確認してください。

カンタン自動パネルと併用の場合

吸込グリルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また昇降動作がスムーズであることを確認します。下降距離を変更した際は、必ず動作を確認してください。

直付加湿器と併用の場合

加湿器接続用断熱材◎を化粧パネルに貼り付けてあることを確認してください。

下記の方法で室内ユニット本体の機能設定を変更してください。

接続可能な室内ユニットについてはカタログを参照いただくか、販売店へお問い合わせください。

- スリム機種の場合（スリムK機種を除く）
リモコンからの設定となりますので、室内ユニット本体の据付工事説明書の**リモコンによる機能選択**の項を参照し、以下の設定を行ってください。
 - 加湿器組込み”有り”に設定（モード番号:13、設定番号:2）
 - オプション組込み”有り”に設定（モード番号:10、設定番号:2）
- マルチ機種の場合（スリムK機種を含む）
室内ユニット本体の制御基板のディップスイッチの設定を行ってください。
 - SW3の2番を**ON**側に設定（工場出荷時は**OFF**）
 - SW21の5番を**ON**側に設定（工場出荷時は**OFF**）制御基板のスイッチの配置は室内ユニット本体の電気配線図をご参照ください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニット本体及び別売部品の説明書などの一式全てをお客様へ渡してください。その際、化粧パネルの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃及び吸込グリルの昇降方法(リモコン操作)について必ず説明してください。

お願い

フィルターをとりはずしたまま運転をしないでください。

- 内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。

お願い

試運転以外での長時間の運転はおやめください。

- 建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。

